



# みんな なかよく げんきに のびよう

三つの宝「①つくしくまわりを ②がおてあいさつを ③ちんとくつならべ」

令和6年度 第46号  
熊本市立植木小学校  
令和6年11月21日  
校長 東田 昌樹

## 「第1回五色百人一首校内大会」を開催しました。

令和3年度から5年度にかけて「五色百人一首」をPTAより寄贈していただきました。青、ピンク、黄、オレンジ、緑の五色に分かれた学校用の教材である「五色百人一首」です。通常の小倉百人一首を100枚でやると、1試合に30分以上かかります。20枚ずつ五色に分けることで1試合が5分程度、慣れてくると3分以内でできるようになります。朝の時間や授業の合間の時間にすることができます。

1学期にひらがなを習ったばかりの1年生も、五色百人一首の札を取るのがとても上手になっています。なかには、「きりぎりす〜」「ハイッ」と上の句の最初の5音で札を取ることができる人もいます。ものすごい成長です。札に書いてあるひらがなの文字を目で素早く追っていく力は、音読をするのにも、読書をするのにも生きてきます。

植木小学校に百人一首の文化が根付いてきて4年目です。当初は、昼休みの希望者による大会をしていましたが、昨年度から学校行事での大会をしています。

この日は、五色の色ごとに上学年(4~6年生)の部、下学年(1~3年生)の部の8会場に分かれて実施しました。(青色とオレンジ色は上学年と下学年を一緒にしています。)ただし、まだ五色百人一首を経験したばかりの1年生は、「1年生の部」として行いました。

各クラスで普段やっている五色百人一首も、集中していて仲よくやっておりとてもいい雰囲気ですが、全校児童での校内大会となると、より次のことを感じました。



- 1 日本の伝統文化に触れる。
- 2 日本語の美しい響きとリズムを感じる。
- 3 上級生や下級生と仲よくふれ合う。
- 4 上級生や下級生とルールを守って試合をする。
- 5 緊張場面を経験する。
- 6 より集中力が高まる。
- 7 勝ってより嬉しい経験をする。
- 8 負けてより悔しい経験をする。



それぞれの色及び学年部ごとに1位~3位を表彰します。

「勝って嬉しかった」というお子さんをたくさん褒めてください。

「負けて悔しかった」というお子さんをたくさんねぎらってください。負けて悔しい経験もとっても大切です。リベンジの大会を1月31日(金)に計画しています。

お正月に家族で百人一首を楽しまれることもおすすめします。

### 【本校の教育目標】

気づき・考え・行動する自立と共生の力を備えた子どもの育成  
～ どの子ども大切にされ、どの子ども成長する学校をめざして ～

